

日本ファンドレイジング協会は、設立当初から掲げている『2020年「善意の資金循環」10兆円時代の実現へ』向けて、昨年度より「社会のために、何か役に立ちたい」と考える人を「枠」を超えて繋ぎ、次々と資金循環を生み出す「社会を動かす」セカンド・ステージと位置づけ、2年目の本年度は、従来の取り組みの強化・継続や様々な新規チャレンジを行った。主なものは次のとおりである。

第一に、社会を変えるプロフェッショナルを生み出す認定ファンドレイザー資格認定制度は、准認定の必修研修修了者が2100名を超え、本制度発足から4年で、70名の認定ファンドレイザーと650名の准認定ファンドレイザーを全国に誕生させることが出来た。また、ファンドレイジングに関する最新事例、世界の潮流などが学べる「ファンドレイジング・日本」は、参加者が過去最多の1300名を超え、世界4大ファンドレイジング大会にまで成長した。

第二に、「寄付教育」は、日本の寄付教育を変える仕掛けの第二年次と位置づけ、第一年次に達成した「寄付教育」のモデルの体系化、テキスト化、担い手の組織化などを資源に、寄付教育指導者養成を実施した。また、昨年に引き続き「寄付教育オープンシンポジウム」も開催した。

さらに、日本初となる「寄付月間」を開催し（共同事務局制）、NPO、企業、行政、国際機関など全123法人が参加し、全国各地での多様な自主企画が実施され、ロールモデルが生まれた。

第三に、遺贈寄付を推進するために、日本を代表する遺贈寄付に携わる最前線の専門家とともに、日本で遺贈寄付を促進するための課題や事例について検討を行い、遺贈寄付アドバイザー研修の実施、遺贈寄付の受入れを目指すNPOの担当者向けに遺贈寄付をわかりやすく解説した「遺贈寄付ハンドブック」を発行した。さらに、寄付だけではなく、「社会的インパクト投資・評価」を促進するために、ソーシャル・インパクト・ボンドの事業開発や、企業の社会性認証制度の検討や社会的インパクト評価ツールの開発等を行った。

## 1. 組織運営について

### 1) 会員拡大

会員数は、1,000を超え順調に増加した。すべての会員について、会員期限切れ1か月前から半年後（会員特典喪失）まで一定のプログラムに基づいて継続依頼を実施していることで、継続率8割程度を維持。さらに、協会会員であることが准認定および認定ファンドレイザーの要件の一つとなっていることや、受験のために受講する各種研修の受講料の減額という特典が歓迎されたことで新規入会者が増加した。

	運営会員(個人)	賛同会員(個人)	賛同会員(団体)	合計
2014年度末	80	1002	51	1133
2015年度末	81	1193	53	1327

### 2) 自主財源の拡大にむけて

研修事業（認定ファンドレイザー制度関連研修、その他のセミナーや研究会、講師派遣）からの収入や社会的投資関連の事業収入の増加、会員拡大による会費収入、1301人の参加者を得て開催したファンドレイジング大会開催への参加費や協賛金などで、いっそうの自主財源の拡大を図るべく事業内容の充実を図った。

2015年度完了時点で、総収入は約11000万円（内、日本財団助成金：2154万円）となり、設立以来初めて1億円を突破した。また、日本財団の助成金以外の自主獲得財源として約8800万円（全体の約80%）を得たことで、自主財源比率を高い状態で維持している。

※2014年度は自主財源5800万円（全体の約74%）

2013年度は自主財源5300万円（全体の約73%）

2012年度は自主財源5796万円（全体の71%）

2011年度は自主財源3245万円（全体の55%）

2010年度は自主財源1800万円（全体の35%）

2009年度は自主財源1210万円（全体の31%）

### 3) チャプター制度

今年度は、昨年度立ち上がった北海道、東海、関西、九州の4つのチャプターとの連携を強化し、様々な事業を共同実施した。

### 4) 総会開催

6月15日に2015年度の通常総会を開催。前年度の決算と事業報告、今年度の予算と事業計画、役員を選任などを決議した。総会後には、協会のビジョンである「2020年『善意の資金循環』10兆円時代の実現」へ向けて日本社会を動かすロードマップについてゲストを交えたトークセッションを開催した。

### 5) 理事会開催

今年度は下記の5回の理事会を開催した。

#### ■第27回理事会 2015年6月3日

- ・2014年度監査をうけて 決算報告
- ・2015度総会議案書について
- ・定款変更について
- ・寄付白書 2015 業務委託について
- ・新規理事、監事の追加と今後の予定について

#### ■第28回理事会 2015年6月15日

- ・代表理事・副代表理事の互選

■第29回 2015年9月17日

- ・ セオリー・オブ・チェンジについて
- ・ 2015年度前期振り返りと後期に向けて

■第30回 2014年12月19日

- ・ 東京都認定申請について
- ・ 謝金規定改定について
- ・ 事業進捗報告
- ・ 次年度からの事業展開について

■第31回 2015年3月24日

- ・ 2016年度暫定事業計画と暫定予算計画について
- ・ 役員の変更について
- ・ 社会的インパクト・センター事業計画について

## 6) 事務局体制

事務局長を含めて8名が常勤に体制を強化した。その他、週3回のパートタイムが2名。週1～2回のアルバイトが3名の体制で事業を行った。こうした常勤職員に加えて専門的知識をもった契約調査員、プロボノ、インターンなどを募って事業を実施した。

## 7) ボランティア

月例の「JFRAボランティアデー」を中心に全11回のボランティアデーを開催。積極的にボランティア参加を募り、折々、DMの発送、セミナー、ファンレイジング大会の開催等で協力を得た。特に、ファンレイジング大会では、約60名のボランティアが大会の開催準備と当日の運営に協力した。2016年3月末時点のボランティア登録者数は150名。

## 8) マスコミ掲載

寄付月間が大きくマスコミに取り上げられた影響で折々マスコミ取材を受け、下記が報道された。

全37件

● 2015年

- ・ 4月7日 オルタナ 社会を変えるプロフェッショナル「ファンレイザー」とは
- ・ 4月27日 日経CNBC「ザ・金融闘論」「ソーシャルマネーのまわし方」に出演
- ・ 8月22日 日本経済新聞社「寄付イベント女性の視点で」
- ・ 10月8日 中日新聞「<市民活動とお金> (下) 善意を橋渡し」
- ・ 10月14日 日本経済新聞 「楽しんでフィランソロピー 次世代教育 グローバル人材育てる」
- ・ 11月6日 日経産業新聞 「社会イノベーター公志園「課題を機会に」仲間集め
- ・ 11月9日 オルタナS 結果ではなく「成果」で 社会的インパクトの測り方
- ・ 11月9日 日経Dual 心が豊かになり、子どもへの高い教育効果も。デュアラーが選ぶべき寄付

## プログラムとは？

- ・ 11月28日 日本経済新聞 日毎年12月を寄付月間に、国や企業呼び掛け 全国でイベント
- ・ 12月1日 日本経済新聞 寄付の文化を定着させたい
- ・ 12月7日 オルタナ 日本は米国の3%以下、寄付市場を拡大するには
- ・ 12月7日 NHK 首都圏ネットワーク
- ・ 12月8日 アドタイ めざすは寄付文化の醸成、12月より「寄付月間」がスタート
- ・ 12月8日 NHK NEWS WEB「12月は寄付月間」
- ・ 12月号 高校生新聞 高校生も楽しみながら考えて・12月は「寄付月間」
- ・ 12月10日 佐賀新聞 13日、佐賀市でシンポ「寄付サミット」。寄付を通じた社会貢献とは
- ・ 12月12日 朝日新聞「寄付日本人の4割越」
- ・ 12月16日 オルタナ・yahoo 「なぜ今？相次ぐ社会貢献ブックフェア—ジュンク堂でも紀伊國屋でも」
- ・ 12月23日 産経新聞「「寄付月間」スタート カンパいで、古本で…楽しく」
- ・ 12月24日 東京新聞「12月を寄付月間に」 「日本で定着を」NPO、企業など推進委
- ・ 12月24日 中日新聞「12月を寄付月間に」 日本で定着目指しNPO、企業など推進委
- ・ 12月24日 NHK 解説委員会 「くらし解説」

## ●2016年

- ・ 1月号 シナジー「欲しい未来へ、寄付を贈ろう。Giving December 寄付月間2015」
- ・ 1月7日 J-WAVE TOKYO MORNING RADIO
- ・ 1月12日 稼げる資格2015年下半期版
- ・ 1月19日 河北新聞「走って震災遺児支援 根付かせたい寄付文化」
- ・ 1月20日 ザッカーバーグ氏が5.5兆円寄付 これって文化の差？
- ・ 1月21日 Etic「寄付の“もやもや”をデータから考えてみた」
- ・ 1月28日 毎日新聞 社説「日本の寄付文化 広める方法工夫したい」
- ・ 1月28日 朝日新聞「楽しんで気軽に寄付」
- ・ 2月2日 オルタナ「共感集めて資金調達する「ファンドレイジング」、アジア最大の会議開催」
- ・ 2月2日 yahoo「共感集めて資金調達する「ファンドレイジング」、アジア最大の会議開催」
- ・ 2月21日 朝日新聞「社会貢献と自己肯定感考えるシンポ」
- ・ 2月 RECRUIT 稼げる資格2016年上半期版
- ・ 3月13日 anan ニュース「ビル・ゲイツも山中教授も！格差をなくす「フィランソロピー」って知ってる？」
- ・ 3月19日 朝日新聞「最近、寄付をしましたか？」
- ・ 3月29日 寄付ラボ「欲しい未来へ、寄付を贈ろう。」

## 2. 主な実施事業について

### 1) 認定ファンドレイザー制度

認定ファンドレイザー・准認定ファンドレイザーの受験資格を得るためには、それぞれ、必修研修と、一定の研修実績を積むためのポイント付与となっている選択研修を一定数受講する必要がある。そのための研修を下記の通り開催した。なお、地方での開催が望まれる中、チャプターの協力を得ながら地方開催にも注力した。なお、今年度、必修研修内容のさらなる充実に向けて、研修のための教本の改訂を行った。

■必修研修

准認定ファンドレイザー必修研修（2015）	585	
2015年4月11日	29	東京都
2015年4月20日	22	愛知県
2015年4月23日	27	東京都
2015年5月14日	33	東京都
2015年5月17日	21	大阪府
2015年5月23日	33	東京都
2015年8月29日	35	山口県
2015年9月3日	38	東京都
2015年9月21日	25	北海道
2015年9月30日	29	東京都
2015年10月17日	16	京都府
2015年10月22日	22	東京都
2015年10月25日	15	愛知県
2015年11月1日	54	東京都
2016年1月16日	32	静岡県
2016年3月11日	154	東京都

認定ファンドレイザー必修研修（2015）	29	
2015年9月10日	11	東京都
2015年10月10日	18	東京都

■協会・チャプター主催の研修

開催日	研修：研修名	開催地
2015年4月7日	ファンドレイジング入門	東京都
2015年4月15日	1日でマスター戦略的ファンドレイジング基礎	東京都
2015年4月17日	2015年度第1回ファンドレイジング研究会・関西	大阪府
2015年4月24日	獲得率がグングン上がる！助成金をてこに成長するファンドレイジング	東京都
2015年4月24日	営業マンのノウハウから学ぶ共感を高められるメッセージの伝え方	東京都

2015年4月24日	助成金の活かし方と自立に向けて	愛知県
2015年4月26日	お金の地産地消白書2014を読む会	熊本県
2015年4月27日	第1回ファンドレイジング・サロン	東京都
2015年5月15日	寄付の「ホント」を寄付白書から学ぼう！	東京都
2015年5月15日	参加したくなるNPOの広報、共感をマネジメントするコミュニケーションとは	東京都
2015年5月16日	関西チャプター設立記念セミナーファンドレイジングのこれから	大阪府
2015年5月19日	ファンドレイザーが学ぶべきボランティアマネジメント	愛知県
2015年5月19日	地域のお金の流れをデザインする地域内「志金」循環モデルへの挑戦	愛知県
2015年5月24日	NPOの経営戦略・組織の成長のためのファンドレイジングとは	東京都
2015年5月26日	第2回ファンドレイジング・サロン	東京都
2015年6月22日	第3回ファンドレイジング・サロン	東京都
2015年6月25日	ファンドレイジング入門	東京都
2015年6月30日	第4回ファンドレイジング・サロン	東京都
2015年7月25日	2015年度第2回ファンドレイジング研究会・関西	奈良県
2015年7月29日	ソーシャルビジネスでの起業、可能性を拓げるファンドレイジングとは	東京都
2015年8月26日	ファンドレイジング入門	東京都
2015年9月12日	寄付のホントを寄付白書から学ぼう	東京都
2015年9月12日	幅広い支援を得るために必要な社会的価値評価とは	東京都
2015年9月19日	地域社会を変えるファンドレイジング	北海道
2015年9月20日	北海道ファンドレイジングフォーラム「ファンドレイジング超入門」	北海道
2015年10月1日	人を動かすスピーチ、プレゼンの力	東京都
2015年10月1日	大口寄付を獲得するためのファンドレイジング戦略	東京都
2015年10月12日	社会貢献ファシリテーター研修	東京都
2015年10月13日	ファンドレイジング入門	東京都
2015年10月18日	2015年度第2回ファンドレイジングセミナー・関西「社会を変える「プロ」のファンドレイザーになるために」	京都府
2015年10月18日	2015年度第2回ファンドレイジングセミナー・関西「社会的投資市場へのロードマップ」	京都府
2015年10月18日	2015年度第2回ファンドレイジングセミナー・関西	京都府
2015年10月23日	ファンドレイジングの7つのステップ	東京都
2015年10月23日	助成金の活かし方と自立に向けて	東京都
2015年10月24日	ファンドレイジングの基本	北海道
2015年11月2日	ファンドレイジングのための基礎体力づくり	北海道
2015年11月2日	明日から使える！ファンドレイジングに必要な「伝えたい」を「伝わる！」に変える広報術	東京都
2015年11月9日	社会貢献ファシリテーター研修	東京都
2015年11月21日	社会貢献ファシリテーター研修	東京都

2015年12月13日	2015年度第3回ファンドレイジング研究会・関西	大阪府
2015年12月13日	GivingDecember 寄付サミット?SAGA・さがつく AWARD	佐賀県
2016年1月20日	ファンドレイジング入門	東京都
2016年2月22日	社会貢献ファシリテーター研修	東京都
2016年3月12日	ファンドレイジング・日本2016	東京都
2016年3月21日	2015年度第4回ファンドレイジング研究会・関西「FRJ2016 振り返り会」	大阪府
2016年3月21日	2015年度第4回ファンドレイジング研究会・関西「2016年度関西チャプターの活動計画を考えるワークショップ」	大阪府
2016年3月25日	社会貢献ファシリテーター研修	東京都
2015年10月1日から	●オンライン研修_助成金をてこに成長するファンドレイジング	オンライン

#### ■他団体による選択研修（添付資料1参照）

必要な選択研修については、協会主催研修以外にも、全国各地で開催される研修のうち、通信教育も含めて、一定の基準を満たす研修については、協会まで申請し、承認を得た後に協会「認定研修」としてポイント付与の対象研修している。そのことで、地方の認定・准認定ファンドレイザーの輩出をはかっている。

#### ■准認定ファンドレイザー試験■

2015年度は准認定ファンドレイザーのための試験を2回、認定ファンドレイザーのための試験を1回行った。准認定ファンドレイザーのための試験は、6月に東京、大阪に初めて名古屋を加えて3会場で、12月には東京、大阪、札幌の3会場で試験を開催し、地域在住の方の受験機会を増やした。その結果、今年度、新しく190名の准認定ファンドレイザーと20名の認定ファンドレイザーが生まれた。

#### 2015年6月28日第7回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	205
受験者数	179
合格者数	115
認定者数	114

#### 2015年12月6日第8回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	148
受験者数	132
合格者数	109
認定者数	109

#### 2015年12月6日第4回認定ファンドレイザー試験

志願者数	32
------	----

受験者数	32
合格者数	21
認定者数	20

(必要書類未提出者 1 人)

その結果、2016年3月末日時点での資格保有者は下記のとおりとなった。

※本資格制度発足から4年で、合計70名の認定ファンドレイザーと650名の准認定ファンドレイザーが誕生している。

資格保有者数(2016年3月末日現在)	
准認定ファンドレイザー	650
認定ファンドレイザー	70

#### ■認定ファンドレイザー検定委員会の開催

今年度も試験について、事務局外の委員からなる「認定ファンドレイザー検定委員会」において試験問題の作成、採点基準などを討議した。今年度は、7月28日、1月14日の2回、委員会を開催した。

委員リストは下記の通り（アイウエオ順）

- 伊藤 美歩氏（アーツ・ブリッジ代表）
- 鵜尾 雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事）
- 鴨崎 貴泰氏（日本ファンドレイジング協会 事務局長）
- 樽本 哲氏（弁護士）
- 徳永 洋子氏（日本ファンドレイジング協会 理事）
- 早瀬 昇氏（日本NPOセンター代表理事）
- 矢崎 芽生氏（公認会計士）
- 山元 圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）

#### ■ファンドレイジングスクール事業の開始準備

今年度は、新規事業として「ファンドレイジングスクール」事業の開始準備を行った。

<ファンドレイジングスクールとは>

共感性をマネジメントしながら事業、組織、財源を成長させ、社会にイノベーションを生み出す力を持つ人材を輩出するスクール

<ファンドレイジング・スクールの目的：実践力のあるファンドレイザーを育てる>

- ・ ファンドレイジング・スクールの目的

どんな組織であっても、いかなる状況であっても、経営資源を獲得し、組織と事業を成長させることができる実践力をもったファンドレイザーを育成すること。

- ・ ファンドレイジング・スクールの対象・メソッド・コース

- ・ 認定・准認定ファンドレイザーを対象



・「体系的な知識の習得」「経験からの学び」「実践による定着」の3つのメソッド

- 体系的な知識の習得・・・認定ファンドレイザー必修研修の受講
  - 経験からの学び・・・ケーススタディにて様々な組織規模・領域での課題を仮想体験
  - 実践による定着・・・ゼミにて自団体のファンドレイジング戦略を策定・実施を行う  
実在の団体へのコンサルタント実習
- 本科一年コースと単科コース
    - 本科一年コース・・・認定ファンドレイザー必修研修、26 講座のアドバンス研修と 12 回のゼミの参加、日本ファンドレイジング協会が主催する研修・イベントに無料参加が特典がセットになった1年コース ⇒ 13名が入学し4月から開講
    - 単科コース・・・アドバンス研修の単科受講。准認定ファンドレイザー必修研修受講者が参加可能

■ 開講までの流れ

時期	内容
4月～5月	要件定義:コンセプトの確認、内部・外部研修の棚卸し
6月～8月	概要設計: ターゲットイング(コア・アドバンス対象の絞込) ポジショニング(他団体とのすみわけ) シミュレーション(収支目標の設定)
9月～11月	詳細設計: 開発コンテンツの洗い出し 講師候補への声かけ Webサイト構築 価格決定
12月～3月	集客開始: ・説明会を4回開催 ①12/15 10名 ②1/30 14名 ③2/26 7名 ④3/12 40名 ・パンフレット制作
1月～	各種コンテンツ制作
4月16日	開校式

## 2) ファンドレイジング大会の開催

2016年3月12日と13日に第7回となるファンドレイジング大会「ファンドレイジング・日本2016～「粋」を超える。「力」がつながる。～」を開催した。

今回は、世界的な非営利組織をクライアントにもつマーケティング戦略の第一人者ビル・トリバー氏や全米で寄付教育プログラムを提供している Learning by giving Foundation の代表バフェット氏も登場したオープニングセッションからスタートし、ソーシャルセクターをけん引する豪華な講師による60のセッション、認定・准認定ファンドレイザーギャザリングや地域ギャザリング、500名が参加した懇親会などを開催し、大会全体では、過去最多の1301名が参加した。

クロージングセッションでは、第7回日本ファンドレイジング大賞の発表を行った。大賞は、月1,000円からできる病児保育支援「ひとりおかんっ子応援団プロジェクト」など病児保育サービル事業に留まらず、さまざまなメニューで、病児保育の問題解決に取り組み広く一般からの共感を集めたNPO法人ノーベルに授与した。

また、特別賞は、設立以来、半世紀に渡り日本の市民セクターを牽引する団体のひとつとして、社会をより良くする活動を展開し続けてきた社会福祉法人大阪ボランティア協会に授与した。

■日程：2016年3月12日（土）、3月13日（日）（3月11日はプレイベントを開催）

■場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス

■参加者数：1301名

■セッション数：60

■開催への支援（助成・協力・協賛）

[助成] 日本財団

公益財団法人トラスト未来フォーラム

【協賛】

株式会社インテージ／株式会社インテージリサーチ

アイエイエフコンサルティング チーム GOEN

佐賀県

東京東信用金庫

株式会社 PLUS SOCIAL

公益財団法人ベネッセこども基金

リネットジャパングループ株式会社

gooddo 株式会社

株式会社エースデザイン

NPO 向け物品寄付プログラム『お宝エイド』

特定非営利活動法人 CANPAN センター

GREEN FUNDING by T-SITE

公益財団法人公益推進協会

公益財団法人公益法人協会

コモンズ投信株式会社

嵯峨野株式会社

株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント・サービス

ソフトバンク株式会社

ソリマチ株式会社

地域×クラウドファンディング FAAVO（ファーボ）

株式会社バリューブックス

特定非営利活動法人 NPO サポートセンター

Salesforce.org

株式会社ファンドレックス

株式会社フェブ

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

READYFOR 株式会社

ウィナーズ・アンド・カンパニー株式会社

NPO 会計支援センター

株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ

一般財団法人ジャパングビング

一般社団法人ドリームマップ普及協会

WORLD FESTIVAL Inc.

【特別協力】芝浦工業大学

### 3) ファンドレイジング研究会（ファンドレイジング・サロン）の開催

これまでファンドレイジング研究会として会員限定で実施してきたが、今年度よりファンドレイジングの最新事例を話題に会員同士のネットワーキングを重視する内容に変更。ダイアログ中心で、軽食をとりながらの参加しやすい雰囲気にし、さらに参加会員には非会員を招待できる特典を与えることで、会員増加のきっかけとした。

#### ■第1回ファンドレイジング・サロン

AFP 報告会「世界の潮流と日本の未来を語る」

日時：2015年4月27日（月） 19時00分～21時00分

スピーカー：

鶴尾 雅隆氏（日本ファンドレイジング協会 代表理事）

伊藤 美歩氏（有限会社 アーツブリッジ/NPO 法人 日本ファンドレイジング協会）

三島 理恵氏（日本ファンドレイジング協会 ディレクター）

#### ■第2回ファンドレイジング・サロン

「共感を得るストーリーテリングについて」

日時：2015年5月26日（火） 19時00分～21時00分

スピーカー：

伊藤 美歩氏（有限会社 アーツブリッジ/NPO 法人 日本ファンドレイジング協会）

池本 修悟氏（NPO 法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン副代表理事）

#### ■第3回ファンドレイジング・サロン

「ソーシャルセクター大注目の「社会的投資」最前線」

日時：2015年6月22日（月） 19時00分～21時00分

スピーカー：

工藤 七子氏（日本財団 社会的投資推進室 室長）

須藤 奈応氏（日本取引所グループ）

水谷 衣里氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング ソーシャルエコノミー研究センター 副主任研究員）

ファシリテーター：

鴨崎 貴泰氏（日本ファンドレイジング協会 事務局長）

#### ■第4回ファンドレイジング・サロン

「いよいよ動き出す遺贈寄付」

日時：2014年7月30日（木）19時00分～21時00分

スピーカー：

荻野 一信氏：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本ファンドレイジング部シニアオフィサー

芝池 俊輝氏：弁護士 弁護士法人東京パブリック法律事務所三田支所代表

山北 洋二氏：あしなが育英会 常勤監事、特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会理事  
ファシリテーター：

鶴尾 雅隆氏：特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会 代表理事

#### 4) ファンドレイジングジャーナル

海外事例の紹介やトップランナーへのインタビュー、ファンドレイジングに関する最先端なトピックスなど全36本を掲載。

#### 5) 「寄付白書2015」発行

隔年発行に変更した最初の号として、「寄付白書2015」を出版。初版2,000部を2015年11月20日に発行。新装版として、主に次の5点の改善を行った。

- ① これまでの白書の総括版として、過去の寄付白書に掲載した寄付とボランティアの推計値や特集章で掲載した項目を取りまとめ、これまでの白書の内容が一覧できるようにした。
- ② 実務に使いやすいデザインとして、判型をA5からA4に変更、各見開きページでリードを掲載し、テキスト掲載ページと図表掲載ページを分け、トーンをそろえることで見やすく使いやすいレイアウトにした。また、巻頭でインフォグラフィックスによる要約を掲載することでコンパクトに日本の寄付市場の傾向を把握しやすくした。
- ③ 調査対象数を、総務省の家計調査（約9,000世帯）を上回る約9,500サンプルとし傾向の確度を上げるとともに、調査票を本書最後部に初めて掲載することで、調査項目の追確認をしやすくした。
- ④ 分析の視点として、カテゴリ分けを行い、寄付者の特性と傾向を把握しやすくした。
- ⑤ 寄付白書発行パートナー募集キャンペーンに計画的に行い、過去最高の寄付者数・寄付金額（111名・2,050,000円、目標達成率102.5%）を得て発行した。また新たな寄付メニューの取組みとして、法人広告掲載を行い6社の広告掲載を行うとともに協会全体への新規支援者獲得にもつながった。

#### 6) 寄付教育

日本の寄付教育を変える仕掛けの第二年次と位置づけ、第一年次に達成した「寄付教育」のモデルの体系化、テキスト化、担い手の組織化などを資源に、寄付教育指導者養成を目標として実施した。また、同時に金融教育実施機関や教育機関、行政組織など他機関と連携した社会貢献教育推進フォーラムを設立し、次年度の事業展開への準備にも着手した。

■寄付教育指導者研修モデルの事業開始（認定指導者の誕生、全国で認定（CFR）・准認定（ACFR）ファンドレイザー、教員等を対象とした研修会5回開催）

寄付教育の指導者養成研修「社会貢献教育ファシリテーター研修」を企画し、2014年度開発したツールをベースに、カリキュラムの作成、ファシリテーター用教材（マニュアル・団体紹介シート・書籍）を作成し、都内にて5回実施した。同研修受講者数は103名で、社会貢献教育ファシリテーター9名が誕生した。

#### 第1回 社会貢献教育ファシリテーター研修

- ・日時：2015年10月12日（月） 10：00～17：00
- ・内容：寄付教育を軸とした社会貢献教育プログラムの解説、ワーク：「寄付の教室」「社会に貢献する」WS デモンストレーション、「寄付の教室」「社会に貢献する」WS 実施上の注意点解説、「寄付の教室」ロールプレイ、振り返り、社会貢献教育ファシリテーターになるための手順解説
- ・参加者：41名
- ・満足度：4.23

#### 第2回 社会貢献教育ファシリテーター研修

- ・日時：2015年11月9日（月） 10：00～12：00
- ・内容：寄付教育を軸とした社会貢献教育プログラムの解説、ワーク：「寄付の教室」「社会に貢献する」WS デモンストレーション、「寄付の教室」「社会に貢献する」WS 実施上の注意点解説、「寄付の教室」ロールプレイ、振り返り、社会貢献教育ファシリテーターになるための手順解説
- ・参加者：13名
- ・満足度：4.62

#### 第3回 社会貢献教育ファシリテーター研修

- ・日時：2015年11月21日（土） 10：00～12：00
- ・内容：寄付教育を軸とした社会貢献教育プログラムの解説、ワーク：「寄付の教室」「社会に貢献する」WS デモンストレーション、「寄付の教室」「社会に貢献する」WS 実施上の注意点解説、「寄付の教室」ロールプレイ、振り返り、社会貢献教育ファシリテーターになるための手順解説
- ・参加者：16名
- ・満足度：4.08

#### 第4回 社会貢献教育ファシリテーター研修

- ・日時：2016年2月22日（月） 10：00～12：00
- ・内容：寄付教育を軸とした社会貢献教育プログラムの解説、ワーク：「寄付の教室」「社会に貢献する」WS デモンストレーション、「寄付の教室」「社会に貢献する」WS 実施上の注意点解説、「寄付の教室」ロールプレイ、振り返り、社会貢献教育ファシリテーターになるための手順解説
- ・参加者：7名
- ・満足度：4.14

#### 第5回 社会貢献教育ファシリテーター研修

- ・日時：2016年3月25日（金） 10：00～12：00
- ・内容：寄付教育を軸とした社会貢献教育プログラムの解説、ワーク：「寄付の教室」「社会に貢献する」WS デモンストレーション、「寄付の教室」「社会に貢献する」WS 実施上の注意点解説、「寄付の教室」ロールプレイ、振り返り、社会貢献教育ファシリテーターになるための手順解説
- ・参加者：16名
- ・満足度：4.13

■社会教育オープンシンポジウム現場指導者登壇「社会貢献を通じて自己肯定感を高める教育オープンシンポジウム 2016～寄付・社会貢献の新たなチャレンジ」

本シンポジウムは、日本の社会貢献教育に関するカンファレンスのフラグシップとして「寄付教育オープンシンポジウム 2015」の内容を更に一歩進め、社会貢献教育が日本社会でもつ意味と可能性を有識者、現場経験者など交え議論を深めることで、関心層に情報を発信し社会貢献教育の展開に必要な関係者を巻き込むことを目的として実施した。米国よりコロンビア大学やスタンフォード大学をはじめとする全米 35 校で実施されている寄付教育プログラム展開しているアレックス・バフェット氏（Learning by Giving Foundation CEO、ウォーレン・バフェット氏の甥孫）を招聘し、定員の 300 名を超える参加者を得て開催した。このシンポジウムをきっかけとして、Learning by Giving プログラムのアジア初の実施に向けて、Learning by Giving Foundation とパートナーシップを組むことが確定し、実施チームの立ち上げにつながった。

また、第 2 部では、社会貢献教育ファシリテーターで東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭の藤木正史氏が登壇し、教育現場の実状と社会貢献教育の可能性が提示され、教育現場の声を反映した具体的な議論を深めた。

- ・日時：2016年3月12日（土） 15:30-16:50（第一部）・17:20-18:40（第二部）
- ・場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 大講義室
- ・内容：ファンドレイジング・日本 2016 の 2 セッションとして開催（3/12 15:30～18:40）。第一部（80分）では、米国フィランソロピー教育の中でも Learning By Giving Foundation による取り組みを紹介すると共に会場を交えたバフェット氏とのダイアローグ、第二部（80分）では、寄付教育のもつ意味と可能性という視点から現場経験者の事例報告も交えたパネルディスカッションを行った。

【第一部】

- ・基調講演「Learning By Giving Foundation の米国フィランソロピー教育での意義」アレックス・バフェット氏（Learning by Giving Foundation の共同創設者兼代表 ウォーレン・バフェット氏の甥孫）
- ・会場を交えたバフェット氏とのダイアローグ
- ・ファシリテーター：坂之上洋子氏（経営ストラテジスト、作家）
- ・登壇者：アレックス・バフェット氏

鵜尾雅隆（日本ファンドレイジング協会 代表理事）

## 【第二部】

パネルディスカッション「社会貢献教育や寄付教育の最前線と今後の可能性」

- ・モデレーター：大石俊輔（日本ファンドレイジング協会 プログラムディレクター）
- ・登壇者：
  - 高橋陽子氏（公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長）
  - 坪田知広氏（文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長）
  - 藤木正史（東京学芸大学附属国際中等教育学校 社会科/地理歴史科/公民科（日本史）教諭・社会貢献・ボランティア教育担当・社会貢献教育ファシリテーター）
  - 村上徹也氏（日本福祉大学 教授、市民社会コンサルタント）
- ・参加者：300名
- ・満足度：4.45

■全国5拠点で寄付の教室実施モデル構築（地域で認定指導者が「寄付の教室」を実施していくための手順やガイドライン、実施フローのシステムを整備し、5地域にてモデル展開する）

地域拠点であるチャプターや外部の地域コーディネーターなどを通じた連携実施体制にて「寄付の教室」を行うことで、実施モデル構築に向けた準備に着手し、外部連携体制で「寄付の教室」を全国7地域・6拠点にて12回実施した。

- ① 日時：2015年5月18日（月）14：40～16：10
  - ・対象：西日本工業大学 3・4年生 44名
  - ・内容：「寄付の教室」の実施
  - ・連携パートナー：一般社団法人生き方のデザイン研究所
- ② 日時：2015年6月17日（水）15：30～18：30
  - ・対象：明治学院大学 1・2年生 20名
  - ・内容：「寄付の教室」「ライフプランニング授業」組み合わせ実施
  - ・連携パートナー：明治学院大学ボランティアセンター、ソニー生命保険株式会社
- ③ 日時：2015年10月2日（金）10：00～18：30
  - ・対象：姫路市立林田中学校 2年生 2クラス 48名
  - ・内容：チャプター向けファシリテーターレクチャー（10：00～12：00）、「寄付の教室」の実施（13：05～15：05）、学校教員との振り返り会（15：30～16：30）チャプター連携モデル検討会（17：30～18：30）
  - ・連携パートナー：関西チャプター
- ④ 日時：2015年10月20日（火）13：00～14：30
  - ・対象：立命館大学 経営学部 2～4年生 15名
  - ・内容：「寄付の教室」の実施（関西チャプター所属のNPOプレゼン）

- ・ 連携パートナー：関西チャプター
- ⑤ 日時：2015年10月20日（火）10：50～12：25
- ・ 対象：北九州市立泉台小学校 4年生 2クラス 48名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：一般社団法人生き方のデザイン研究所
- ⑥ 日時：2015年11月19日（木）13：30～15：20
- ・ 対象：神奈川県立厚木商業高等学校 2年生 7クラス 264名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：なし
- ⑦ 日時：2015年11月28日（土）13：30～15：00
- ・ 対象：佐賀県佐賀市・イベント「よりみちステーション」 小学校1・2年生 5名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：公益財団法人佐賀未来創造基金
- ⑧ 日時：2015年12月10日（木）10：50～12：25
- ・ 対象：北九州市立鞆ヶ谷小学校 4年生 2クラス 37名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：一般社団法人生き方のデザイン研究所
- ⑨ 日時：2015年12月12日（土）10：00～11：30
- ・ 対象：東京都世田谷区・イベント「commons子どもトラストセミナー」 小学校1～5年生 10名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：commons投信株式会社
- ⑩ 日時：2015年12月17日（木）10：00～12：00
- ・ 対象：東京都立江東商業高等学校 2年生 5クラス 174名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：なし
- ⑪ 日時：2016年1月16日（土）9：30～11：50
- ・ 対象：私立折尾愛真高等学校 1年生 1クラス 26名
  - ・ 内容：「寄付の教室」の実施
  - ・ 連携パートナー：一般社団法人生き方のデザイン研究所
- ⑫ 日時：2016年1月31日（日）14：00～15：30



- ・ 対象：大阪府箕面市・イベント「まーぶハローワーク」 小学校5・6年生 10名
- ・ 内容：「寄付の教室」の実施
- ・ 連携パートナー：NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝

■ 昨年度出版した書籍『社会に貢献する』を元にしたワークショップ型教育プログラムを東京学芸大学附属国際中等教育学校にてパイロット実施

2014年度の出版した書籍『社会に貢献する』を元に、ワークショップ型のプログラムを東京学芸大学附属国際中等教育学校と連携し開発しパイロット実施した。これをきっかけとして、更に長期的に様々な社会貢献教育プログラムの共同実施関係を構築した。

『社会に貢献する』ワークショップ

- ・ 日時：2016年10月6日（火）14：05～15：55
- ・ 対象：東京学芸大学附属国際中等教育学校 1年生（中学1年生に相当） 4クラス 約100名
- ・ 内容：『社会に貢献する』を元にしたワークショップ型のプログラム

■ 寄付教育推進協議会の設立（金融教育実施企業・団体などと連携して事業展開を図る）

① 金融教育団体、教育機関との連携（寄付教育推進協議会設立準備委員会の実施（日本ファンドレイジング協会内に設置））

最適な社会貢献教育・寄付教育・ボランティア教育等を全国全ての学校（小学校、中学校、高等学校）で実現するために必要な論点を整理し、推進に向けたアクションを提言書として取りまとめ発表すること目的とし、関係各機関の代表者から成る「社会貢献教育推進フォーラム」を設立し、第1回目の会合を開催した。

第1回目の同会合では、日本ファンドレイジング協会から日本の社会貢献教育を取り巻く、社会的背景、子ども若者の意識の国際比較、法制度上の位置づけなど議論の土台に関する説明がなされた上で、各委員より自団体の取組みと課題提起が行われ、意見交換と論点整理がなされた。また、2016年度からの2回目以降は提言書作成のためのペーパー作りとそれを元にした議論の段階への準備を整えた。

<社会貢献教育推進フォーラム委員>

鵜尾雅隆（NPO 法人日本ファンドレイジング協会 代表理事）

唐木清志（筑波大学 人間学群 教育学類 准教授※2016年3月末まで在米中）

社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 ※人事異動につき調整中

高橋陽子（公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長）

早瀬昇（認定NPO 法人日本NPOセンター 代表理事／大阪ボランティア協会 常務理事）

藤木正史（東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭）

村上徹也（日本福祉教育・ボランティア学習学会理事／日本福祉大学教授）

<第1回社会貢献教育推進フォーラム>

日時：2016年3月29日（火） 9：30～12：30

内容：各委員の自己紹介、社会貢献教育推進フォーラムの趣旨・目的のご説明、各委員よりの自団体の取り組みに関するご紹介、意見交換、全体日程

## 7) 寄付月間

【寄付月間～Giving December～】とは

社会の課題が増す日本において、一人ひとりの役割の重要性が高まるとともに、寄付に関心をよせ、寄付する人も増加してきている。そこで、寄付者に感謝し、寄付の大切さと役割について考え、寄付に関心をよせ、行動をするきっかけともなる「月間」（12月）を制定し、平成27年度から開始した。

本寄付月間は、経済界、メディア、NPO、行政が連携して別途設置する推進委員会を中心に、普及広報活動を実施し、各事業主体や法人が上記に関する自主的な取り組みを行うことを促進するものである。

委員長 小宮山宏 三菱総研理事長/元東京大学総長  
共同事務局長 鶴尾雅隆 日本ファンドレイジング協会代表理事

民間非営利組織、企業、行政、国際機関などで寄付に関連する取り組みをしている全国代表的な機関の代表者が集まり、35名の推進委員会を構成各法人の有志による共同事務局を設置して、寄付月間の統一ロゴ作成や各方面との連携による全国的周知による啓発活動、イベント開催や賛同パートナー（無料）の拡大などを行った。

初年度賛同パートナーは、行政、NPO、企業、大学等全123法人。

公式認定企画は23件となり、全国各地での多様な自主企画の誘発ができ、ロールモデルが生まれた。

また、主要全紙、地方紙、オンラインメディア、TVなどで取り上げられ（43件）、寄付月間に関しての発信や寄付特集などを誘発することができた。

さらには、朝日デジタル上での著名人寄付リレートーク、遺贈寄付推進委員会発足発表など、今後に継続する流れが生み出すことができ、寄付の啓発キャンペーンとしてのひとつの「形」ができ、寄付文化醸成にとっても効果があったものと考えられる。

## 8) 遺贈寄付の推進

### ■ 遺贈寄付推進会議の実施

月次開催し、毎回約15名程の士業やNPO関係者が参加し、以下の検討・実施を行った

- ・士業向け研修の企画／コンテンツ開発／運営実施
- ・NPO向けの遺贈寄付ハンドブックの企画／執筆／校正／出版
- ・全国化に向けた委員会立ち上げ
- ・全国遺贈寄付（レガシーギフト）推進検討委員会の設立（2月～8月）

### ■ 遺贈寄付アドバイザー研修の実施

第一回遺贈寄付アドバイザー研修の実施

- ・開催日：2015年8月25日（火）10:00～18:30
- ・参加者：弁護士、税理士、公認会計士、司法書士、行政書士、NPOの遺贈寄付担当者

約 70 名が参加 137 頁にわたる法務・税務・信託・NPO に関わる広範囲で専門的な内容を扱った。ケーススタディも今回の研修に向けて新たに開発した。

■ 遺贈寄付ハンドブックの発行

遺贈寄付の受入れを目指す NPO の担当者が必要な情報を Q&A 形式でわかりやすく解説したハンドブック。FRJ2016 にて発売開始し 2 日間で 250 冊を完売。

■ 全国遺贈寄付（レガシーギフト）推進検討委員会の発足

包括的な視座から日本に遺贈寄付が広がるための方向性を議論する委員会。2016 年 2 月～6 月の間で 3 回開催し、論点ペーパーを作成する。

<委員構成>

- ・堀田力 弁護士／さわやか福祉財団会長 （委員長）
- ・小屋和歌子 弁護士／第一東京弁護士会業務改革委員会第 7 部会（遺言センター）部会長
- ・高橋弘 司法書士／けやき野司法書士法人経営責任者  
／日本成年後見法学会常任理事・国際 交流活動委員会委員長
- ・大野修一 日本財団常務理事  
（代理：ドネーション本部ファンドレイジングチームリーダー長谷川隆治様）
- ・高橋正 税理士／東京地方税理士会 公益活動対策部 部長
- ・脇坂誠也 税理士／NPO 会計税務専門家ネットワーク代表理事
- ・太田達男 公益法人協会理事長
- ・早瀬昇 日本 NPO センター代表理事
- ・深尾昌峰 全国コミュニティ財団協会会長
- ・鶴尾雅隆 日本ファンドレイジング協会代表理事
- ・脇坂誠也 税理士／NPO 会計税務専門家ネットワーク代表理事
- ・齋藤 弘道 野村信託銀行株式会社 受託業務企画部
- ・樽本 哲 赤坂シティ法律事務所 弁護士、NPO のための弁護士ネットワーク 代表

## 9) 社会的投資の推進

■ 休眠預金の社会的活用と社会的インパクト投資、評価の促進

毎年 800 億円を超える、長い間取引されていない“眠っている”銀行預金（休眠預金）の社会的事業等への活用を実現するために、民間有志で設立した「休眠口座国民会議」に代表理事の鶴尾、事務局長の鴨崎が参加し、法律化に向けた活動を行った。

また、2013 年 G8 サミット議長国の英国・キャメロン首相の呼びかけのもと、インパクト投資をグローバルに推進することを目的として創設された「G8 インパクト投資タスクフォース」の国内諮問委員会運営事業を受託し、企業の社会性認証制度の検討や社会的インパクト評価ツールの開発等を行った。

## 10) 講師派遣

今年度、下記の講師派遣を行った。

日程	講師	講演内容
2015/5/16（土）	徳永	「未来貢献プログラム」

2015/5/16 (土)	鶴尾	関西チャプター総会
2015/5/24 (日)	徳永	「がんを語りあう広場」公募助成プログラム最終活動報告会
2015/5/27(水)	徳永	特別セミナーファンドレイジング入門
2015/5/28 (木)	鶴尾	日経ソーシャルイニシアチブ大賞 「ソーシャルビジネスを支える社会的投資の最前線」
2015/6/27 (土)	徳永	市民活動団体のためのファンドレイジング基礎講座
2015/7/4(土)	徳永	平成 27 年度 水源環境保全・再生市民事業支援補助金 市民事業交流会
2015/7/20 (月)	鶴尾	NPO の社会的価値「見える化」プログラム 2015 キックオフセミナー ～社会的価値を可視化する社会的投資の最前線～
2015/7/21 (火)	鶴尾	「成果志向の補助・助成金検討会議 in あいち」
2015/7/22 (水)	鴨崎	民間助成団体部会 情報交換会
2015/7/25(土)	鶴尾	人材育成事業「アートマネージャー養成講座」
2015/7/26 (日)	鴨崎	第 11 回スポーツクラブマネージャー養成(資格認定)講習会
2015/8/30 (日)	鴨崎	平成 27 年度滋賀県次世代創造発信事業「アートマネジメント人材育成講座」
2015/9/2 (水)	鶴尾	成果志向の補助・助成金検討会議 in 東京
2015/9/5 (土)	鶴尾	遺贈寄付の可能性と専門家の果たすべき役割
2015/9/16 (水)	鶴尾	平成 27 年度外務省 NGO 研究会 勉強会 シニアが幸せを感じられる遺贈寄付の仕組みづくりに向けて～遺贈寄付推進のあゆみと展望～
2015/9/17 (木)	徳永	すぎなみ協働プラザ講演
2015/10/7 (水)	鴨崎	福祉医療機構 若手職員勉強会
2015/10/18 (日)	鶴尾	スタンフォード・ソーシャル・イノベーション・レビュー 来日記念シンポ「ソーシャル・イノベーションが拓く未来」
2015/11/7 (土)	鶴尾	社会福祉法人大阪ボランティア協会「創立 50 周年記念式典・パーティー」
2015/11/10 (火)	鶴尾	公益法人トップマネジメントセミナー
2015/11/12 (木)	鴨崎	SIB 勉強会
2015/11/17 (火)	鴨崎	NPO 等寄附募集支援事業(寄附募集・認定 NPO 法人セミナー) ※平成 27 年度 復興支援基盤強化事業(岩手県)
2015/11/18 (水)	鴨崎	NPO 等寄附募集支援事業(寄附募集・認定 NPO 法人セミナー) ※平成 27 年度 復興支援基盤強化事業(岩手県)
2015/11/30 (月)	鶴尾	「寄付のチカラ～地域のささえあい、東北から」
2015/12/2 (水)	鴨崎	SIB 協議会第 3 回会合「日本初の SIB-横須賀養子縁組」
2015/12/13 (日)	鶴尾	Giving December 寄付サミット in SAGA & さがつく AWARD
2015/12/17 (木)	鶴尾	埼玉大学講義
2015/12/16(水)	徳永	困難を有する子ども・若者の相談業務に携わる民間団体職員研修
2016/2/13 (土)	芝池	鳥根県行政書士会研修(遺贈寄付について)
2016/2/19 (金)	鶴尾	NPO 等寄附募集支援事業(寄附募集・認定 NPO 法人セミナー) ※平成 27 年度 復興支援基盤強化事業(岩手県)

添付資料 1 : 他団体による選択研修 一覧

開催日	研修：研修名	開催地
2015年4月20日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	東京都
2015年4月21日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	東京都
2015年4月23日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	福岡県
2015年4月23日	成功するファンドレイジングプロジェクト企画セミナー	東京都
2015年4月24日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	福岡県
2015年5月18日	ファンドレイジング入門・ジャパングビング活用法	東京都
2015年5月26日	salesforce トライアル研修	東京都
2015年6月3日	” 広報＝周知 ” の現状を打破！「WEB・ソーシャルメディアのマーケティング戦略の作り方」	東京都
2015年6月8日	正しく理解し、わかりやすく伝える力を鍛える「ロジカル思考 入門」	東京都
2015年6月9日	初歩的な疑問から答える NPO の教科書読書会	東京都
2015年6月11日	融資 500 万で事業加速！「事業拡大、組織基盤強化へ打ち手をつくる」	東京都
2015年6月15日	課題の本質をつかみ、変化を創り出す「NPO のための課題解決思考－システム思考講座」	東京都
2015年6月17日	” 広報＝周知 ” の現状を打破！「WEB・ソーシャルメディアのマーケティング戦略の作り方」	東京都
2015年6月18日	NPO 広報講座シリーズ I 「広報の基礎知識と基礎意識」	東京都
2015年6月19日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	岡山県
2015年6月22日	課題の本質をつかみ、変化を創り出す「NPO のための課題解決思考－システム思考講座」	東京都
2015年6月23日	NPO 経営戦略フレームワーク実践セミナー社会を変える計画・事業計画	東京都
2015年6月24日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	東京都
2015年6月25日	NPO 広報講座シリーズ II 「取材誘致・メディア対応入門」	東京都
2015年6月25日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	東京都
2015年7月1日	” 広報＝周知 ” の現状を打破！「WEB・ソーシャルメディアのマーケティング戦略の作り方」	東京都
2015年7月2日	NPO 広報講座シリーズ II 「取材誘致・メディア対応入門」	東京都
2015年7月6日	組織の成果を高めるための NPO の組織デザインとマネジメント	東京都
2015年7月7日	企業連携における響く提案書の作り方	東京都
2015年7月9日	NPO 広報講座シリーズ III 「徹底した読者目線で作る活動紹介-文章力・表現力・構成力」	東京都
2015年7月10日	転職者を早期戦力にする、新任 NPO スタッフ研修	東京都
2015年7月13日	組織の成果を高めるための NPO の組織デザインとマネジメント	東京都
2015年7月15日	NPO の経営に活用する「会計・経営分析の実践」	東京都

2015年7月16日	NPO 広報講座シリーズⅣ「広報現場のプロが教える 支援者拡大のためのロジカル写真術-ディレクション&撮影編」	東京都
2015年7月18日	日進月歩の最新 IT ツールを活用！「攻めの NPO マーケティングの始め方」	東京都
2015年7月21日	企業連携における「響く提案書」の作り方	東京都
2015年7月22日	NPO の経営に活用する「会計・経営分析の実践」	東京都
2015年7月22日	融資 500 万で事業加速！「事業拡大、組織基盤強化へ打ち手をつくる」	東京都
2015年7月23日	第三回ファンドレイジング入門・ジャパンギビング活用法	東京都
2015年7月23日	日進月歩の最新 IT ツールを活用！「攻めの NPO マーケティングの始め方」	東京都
2015年7月23日	チームワークを高める「スタッフとの関係に悩むマネージャーのためのアンガーマネジメント&コミュニケーション術」	東京都
2015年7月27日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	大阪
2015年7月27日	組織の成果を高めるための NPO の組織デザインとマネジメント	東京都
2015年7月29日	salesforce 基本機能・操作を集中的に理解する「NPO 実践速習コース」	大阪
2015年7月30日	チームワークを高める「スタッフとの関係に悩むマネージャーのためのアンガーマネジメント&コミュニケーション術」	東京都
2015年8月4日	企業連携における「響く提案書」の作り方	東京都
2015年8月24日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	東京都
2015年8月25日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	東京都
2015年8月30日	アートマネジメント人材育成講座（資金調達的第一步）	滋賀県
2015年8月30日	アートマネジメント人材育成講座（資金調達の手法）	滋賀県
2015年9月2日	あいちコミュニティ財団のこだわりを探る読書会 2015	東京都
2015年9月2日	成果志向の補助・助成金検討会議	東京都
2015年9月26日	あいちコミュニティ財団のこだわりを探る読書会 2015	愛知県
2015年10月26日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	東京都
2015年10月27日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	東京都
2015年11月14日	NPO キャリアカレッジ第 6 期	東京都
2015年11月24日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	愛知県
2015年11月24日	salesforce 紹介・トライアルセミナー	東京都
2015年11月25日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	愛知県
2015年12月3日	NPO 会計・経営分析（基礎）	東京都
2015年12月8日	プレゼンテーションの技術	東京都
2015年12月9日	NPO の法律実務の基礎	東京都
2015年12月14日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	東京都
2015年12月15日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	東京都
2015年12月22日	戦略的 WEB マーケティング	東京都
2016年1月9日	ロジカルシンキングの理論と実践	東京都
2016年1月9日	ウェブ分析の技術（基礎）	東京都
2016年1月13日	NPO マーケティング理論（入門）	東京都

2016年1月15日	寄付マーケティングのデータ分析と関係構築	東京都
2016年1月19日	人材の採用と育成	東京都
2016年1月20日	NPOスタッフのメンタルマネジメント	東京都
2016年1月21日	ファンドレイザーの実務	東京都
2016年1月21日	プロジェクト・マネジメント	東京都
2016年1月22日	N女～ソーシャルセクターで働く女性のキャリアデザイン	東京都
2016年1月27日	戦略とビジネスモデル（入門）	東京都
2016年1月30日	リーダーシップの理論と実践	東京都
2016年2月1日	ファシリテーションを支える会議の技術	東京都
2016年2月4日	社会に対する想いを形にする人・ラボ	東京都
2016年2月5日	支援者獲得のための営業の技術	東京都
2016年2月5日	WEBブランディング	東京都
2016年2月8日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（初級編）	東京都
2016年2月9日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（中級編）	東京都
2016年2月9日	イノベーション・マネジメント	東京都
2016年2月19日	寄付白書2015読書会	東京都
2016年2月25日	第四回ファンドレイジング入門・ジャパングビング活用法セミナー	東京都
2016年2月27日	戦略とビジネスモデル（応用）	東京都
2016年3月1日	NPOリーダーのシステム思考研修	東京都
2016年3月3日	企業向け広報・PRの実務	東京都
2016年3月4日	ケースに学ぶNPOマーケティング	東京都
2016年3月14日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（初級編）	東京都
2016年3月14日	成果志向の補助・助成金のすすめ発行記念イベント	東京都
2016年3月15日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（中級編）	東京都
2016年3月25日	成果志向の補助・助成金のすすめ発行記念イベント	愛知県

## 2015年度 収支決算報告

## 活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日

## 【経常収益】

## 【受取会費】

運営会員受取会費	1,536,000	
賛同会員受取会費	13,489,000	15,025,000

## 【受取寄付金】

受取一般寄付金	1,384,080	
Giving Japan基金	2,690,000	
寄付教育推進寄付	980,000	5,054,080

## 【受取助成金等】

受取助成金		21,940,000
-------	--	------------

## 【事業収益】

事業 収益		66,568,549
-------	--	------------

## 【その他収益】

受取 利息	3,728	
雑 収 益	1,201,997	1,205,725

経常収益 計

109,793,354

## 【経常費用】

## 【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	4,635,500
役員 報酬(事業)	2,764,863
補助作業員給与	14,157,963
通 勤 費(事業)	958,594
法定福利費(事業)	2,205,377
人件費計	24,722,297

(その他経費)

期首棚卸高	7,353,140
期末棚卸高	△ 8,805,270
業務委託費(事業)	20,394,059
諸 謝 金	6,433,622
印刷製本費(事業)	6,715,449
会 議 費(事業)	5,127,224
広告宣伝費(事業)	2,826,783
旅費交通費(事業)	7,725,685
通信運搬費(事業)	1,696,565
備品消耗品費(事業)	844,674
水道光熱費(事業)	225,332
地代 家賃(事業)	3,409,472
減価償却費(事業)	1,724,454
保 險 料(事業)	22,200
租税 公課(事業)	2,483,348
研 修 費(事業)	6,000
支払手数料(事業)	342,845
雑 費(事業)	340,315

その他経費計

58,865,897

事業費 計

83,588,194



【管理費】

(人件費)

給料 手当	1,285,388
役員 報酬	835,137
補助作業者給与	5,439,401
通 勤 費	466,754
法定福利費	797,209
福利厚生費	90,720
人件費計	<u>8,914,609</u>

(その他経費)

印刷製本費	317,850
会 議 費	284,125
旅費交通費	1,198,725
業務委託費	2,294,827
研修費	970,754
通信運搬費	2,588,123
備品消耗品費	711,365
修 繕 費	86,400
水道光熱費	68,062
地代 家賃	1,029,844
広告宣伝費	12,960
新聞図書費	32,065
減価償却費	166,981
保 險 料	20,000
諸 会 費	1,210,615
リース 料	77,220
租税 公課	41,602
支払手数料	3,719,229
支払寄付金	400,000
雑 費	380,675
その他経費計	<u>15,611,422</u>

管理費 計

24,526,031

経常費用 計

108,114,225

当期経常増減額

1,679,129

【経常外収益】

経常外収益 計

0

【経常外費用】

経常外費用 計

0

税引前当期正味財産増減額

1,679,129

法人税、住民税及び事業税

70,000

当期正味財産増減額

1,609,129

前期繰越正味財産額

24,350,109

次期繰越正味財産額

25,959,238

# 貸借対照表

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
平成28年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	161,052
普通 預金	8,407,272
現金・預金 計	8,568,324

(売上債権)

未 収 金	3,375,867
売上債権 計	3,375,867

(棚卸資産)

棚卸 資産	8,805,270
棚卸資産 計	8,805,270

(その他流動資産)

前 渡 金	137,040
立 替 金	753,284
仮 払 金	110,626
その他流動資産 計	1,000,950

流動資産合計

21,750,411

### 【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備	441,341
什器 備品	743,202
有形固定資産 計	1,184,543

(無形固定資産)

ソフトウェア	6,023,416
無形固定資産 計	6,023,416

(投資その他の資産)

保 証 金	1,868,400
投資その他の資産 計	1,868,400

固定資産合計

9,076,359

資産の部 合計

30,826,770

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未 払 金	2,167,880
預 り 金	1,074,452
未払消費税	1,625,200
流動負債 計	4,867,532

負債の部 合計

4,867,532

## 《正味財産の部》

### 【正味財産】

前期繰越正味財産額	24,350,109
当期正味財産増減額	1,609,129
正味財産 計	25,959,238

正味財産の部 合計

25,959,238

負債・正味財産合計

30,826,770

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

平成28年 3月31日 現在

### 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

#### (2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

無形固定資産：定額法

#### (3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

### 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

### 【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は25,959,438円ですが、そのうち0円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は25,959,438円です。

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
Giving Japan基金	0	2,690,000	2,690,000	0	
寄付教育推進寄付	230,000	980,000	1,210,000	0	
合計	230,000	3,670,000	3,900,000	0	

### 【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物附属設備	532,656	0	0	532,656	△ 91,315	441,341
什器 備品	1,516,674	708,718	0	2,225,392	△ 1,482,190	743,202
(無形固定資産)						
ソフトウェア	8,500,308	614,304	0	9,114,612	△ 3,091,196	6,023,416
合計	10,549,638	1,323,022	0	11,872,660	△ 4,664,701	7,207,959

### 【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位: 円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(貸借対照表)		
ソフトウェア	6,023,416	3,488,684
貸借対照表計	6,023,416	3,488,684

2015年度 決算  
事業別損益の状況

[税込](単位:円)

科目	ファンレッシング大会	ファンレザ-育成事業	ジャーナル発行	寄付白書	寄付教育	新規市場拡大	その他事業(委託等)	管理	合計	2014年度
【受取会費】										
運営会員受取会費								1,536,000	1,536,000	1,164,000
賛同会員受取会費								13,489,000	13,489,000	10,957,693
【受取寄付金】										
受取一般寄付金	254,000							1,130,080	1,384,080	1,624,500
Giving Japan基金				2,690,000					2,690,000	230,000
寄付教育推進寄付					980,000				980,000	0
【受取助成金等】										
受取助成金	500,000	6,000,000		2,300,000	11,940,000	1,200,000			21,940,000	20,980,000
【事業収益】									0	0
事業 収益	23,844,702	16,235,974	62,144	2,160,278	463,260	18,134,444	5,608,407	59,340	66,568,549	43,895,913
【その他収益】										
受取 利息								3,728	3,728	4,264
為替 差益								0	0	5,697
雑収益								1,201,997	1,201,997	74,747
<b>売上計</b>	<b>24,598,702</b>	<b>22,235,974</b>	<b>62,144</b>	<b>7,150,278</b>	<b>13,383,280</b>	<b>19,334,444</b>	<b>5,608,407</b>	<b>17,420,145</b>	<b>109,793,354</b>	<b>78,936,814</b>
(人件費)										
給料 手当	951,741	1,114,880	29,891	206,003	793,474	1,344,519	194,992	1,285,388	5,920,888	13,100,582
役員 報酬	618,360	724,355	19,421	133,843	515,532	626,663	126,689	835,137	3,600,000	13,119,319
補助作業員給与	98,750	5,311,528	31,167	296,866	3,948,802	4,470,850		5,439,401	19,597,364	480,000
通 勤 費	53,636	482,800	12,562	11,944	121,415	267,260	8,977	466,754	1,425,348	1,335,454
法定福利費	162,927	678,044	5,117	35,265	498,192	792,452	33,380	797,209	3,002,586	2,956,500
福利厚生費								90,720	90,720	85,132
人件費計	1,885,414	8,311,607	98,158	683,921	5,877,415	7,501,744	364,038	8,914,609	33,636,906	31,076,987
(その他経費)										
期首棚卸高		218,000	800,861	3,051,379	3,095,900	187,000			7,353,140	8,357,660
期末棚卸高			△ 471,938	△ 5,754,086	△ 1,606,234	△ 848,650	△ 124,362		-8,805,270	-7,353,140
業務委託費	4,774,070	1,811,434	1,398	4,001,237	1,869,032	7,927,766	9,122	2,294,827	22,688,886	6,481,300
諸 謝 金	2,630,650	2,296,750	30,000	170,000	850,000	243,416	212,806		6,433,622	5,027,812
印刷製本費	2,269,835	1,462,338		1,415,880	201,992	1,065,548	299,856	317,850	7,033,299	7,873,174
会 議 費	2,175,267	2,690,277			116,504	52,300	92,876	284,125	5,411,349	2,946,064
広告宣伝費	139,541	28,000			2,157,250	501,992		12,960	2,839,743	1,416,549
旅費交通費	2,040,475	1,126,022	1,318	170,186	947,355	779,720	2,660,609	1,198,725	8,924,410	5,312,585
通信運搬費	913,709	481,468	1,993	13,734	203,204	69,457	13,000	2,588,123	4,284,688	2,863,096
備品消耗品費	272,908	180,212			391,554			711,365	1,556,039	1,682,675
水道光熱費	50,395	59,034	1,583	10,908	42,015	51,072	10,325	68,062	293,394	308,329
地代 家賃	762,527	893,233	23,948	165,048	635,725	772,765	156,226	1,029,844	4,439,316	3,675,597
修 繕 費								86,400	86,400	639,360
減価償却費	48,189	1,248,473	82,800		344,992			166,981	1,891,435	963,679
保 險 料	22,200							20,000	42,200	21,380
租税 公課	868,167	632,339	2,263	78,654	16,867	680,861	204,197	111,602	2,594,950	1,669,506
研 修 費		6,000						970,754	976,754	154,070
支払手数料		334,063		958	7,500	324		3,719,229	4,062,074	3,530,512
新聞図書費								32,065	32,065	89,386
賃借料									0	10,059,264
諸 会 費								1,210,615	1,210,615	396,822
リ-ス 料								77,220	77,220	0
支払寄付金								400,000	400,000	0
雑 費	167,706	76,398				71,557	24,654	380,675	720,990	514,974
その他経費計	17,135,639	13,544,041	474,226	3,323,898	9,273,656	11,555,128	3,559,309	15,681,422	74,547,319	56,630,654
合計	19,021,053	21,855,648	572,384	4,007,819	15,151,071	19,056,872	3,923,347	24,596,031	108,184,225	87,707,641
<b>当期経常増減額</b>	<b>5,577,649</b>	<b>380,326</b>	<b>△ 510,240</b>	<b>3,142,459</b>	<b>△ 1,767,811</b>	<b>277,572</b>	<b>1,885,060</b>	<b>△ 7,175,886</b>	<b>1,609,129</b>	<b>△ 8,770,827</b>

## 監査報告書

2016年5月11日

特定非営利活動法人  
日本ファンディング協会  
代表理事 鶴尾雅隆 様

監事 樽本哲

同 脇坂誠也



私たちは、2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の事業報告及び計算書類等（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し、必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、団体の業務は法令及び定款に基づき適正に処理されているものと認められた。

よって、私たちは、上記の業務報告書及び計算書類等が、特定非営利活動法人日本ファンディング協会の2016年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。